

# 平成26年度(公社)福岡県建築士会地域貢献活動報告

## ■麻生建築&デザイン専門学校建築工学科環境デザインゼミ

代表者：専任教員 戸田都生男 一級建築士・博士(学術)

団体所在地：〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-11-13

☎092-415-2292

E-mail : toda@asojuku.ac.jp

URL : http://www.asojuku.ac.jp/act/

会員数(ゼミ学生及び関係教員数) : 7名(学生5,教員2名)

設立年月日 : 平成26年4月15日

### テーマ 博多駅前周辺における木の空間の実態調査

#### □ 活動の目的及びきっかけ

福岡市内は京都に次いでお寺の数が多く、博多駅前の大博通り周辺にも寺社がみられる。これらは木造建築もあり、現在も山笠などで木材が活用され地域の文化ともいえる。また昨今、木はヒートアイランドや地球温暖化対策等の環境保全や人間の心理生理的にも快適な都市空間の形成を担っており、木造建築や木質空間の普及が期待されている。博多駅前周辺においても寺社建築以外にも木を活用した空間がみられる(写真1, 2)。



写真1: 楽水園の木々

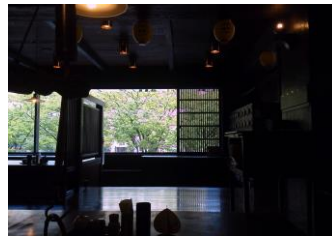


写真2: 和風居酒屋から博多駅筑紫口の木々を望む

以上より、本調査の目的は、博多駅前周辺の木の空間の特色を調査することで、都市の景観形成に貢献し、ひいては日本の林業や建築業界の振興に寄与することである。将来は福岡から木を通じた地域文化を新たに継承し、発信してゆくことが期待できる。

#### □ 主な活動内容

主に博多駅周辺等の都市部における国産材の利活用空間(インテリア・エクステリア・建築等)場所やデザインの現状を調査し、地図(以下MAP)を作成した。

##### 1) 調査の方法

主に徒歩で調査が容易な、JR博多駅を中心に博多口側(西側)と筑紫口側(東側)、北側は御笠川、南側は本校の校舎付近のエリアを調査範囲とした。各エリアを5名のゼミ学生で分担して複数回のまち歩きを行った。その際、明らかに建築物等の外観に木材が使用されている空間を写真撮影した。また、店舗等の建築物内部はゼミ学生がそれぞれプライベートで訪れた空間を管理者の許可を得て写真撮影した。写真撮影が禁止された空間はスケッチを行った。

以上の調査結果を持ち寄り、一週間に一度程度の議論を行い、MAPのまとめ方を決定した。

##### 2) 調査の結果

博多駅前周辺の木の空間の分類を行った結果、最も多かった物件は居酒屋(171軒)、次いで飲食店(101軒)、そ

の他(35軒)、寺社(9軒)であった(図1)。その他は主に宿泊施設、物販店、事務所ビル等であった。なお、飲食店は日中に開店している居酒屋以外の食堂等の飲食店とした。これらの物件について、博多駅前周辺を7つのエリア(A博多口祇園、B博多口博多駅前、C博多口天神方面、D博多口住吉、E筑紫口博多駅南、F筑紫口比恵、G博多駅高架下)に分類し、MAPに各物件のスケッチや写真とともに表示した(図2)。

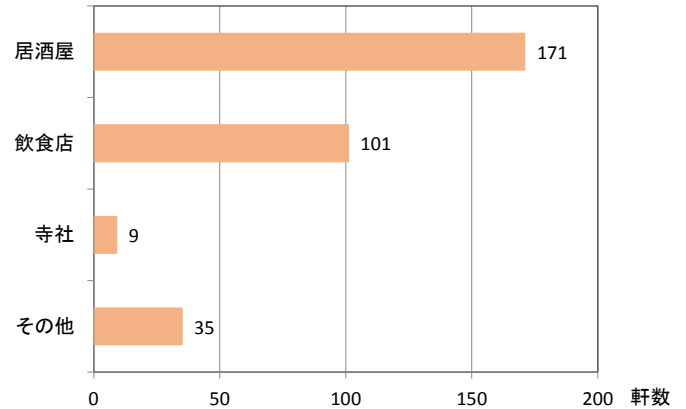


図1: 木の空間の主な種類別軒数



図2: 木の空間のMAP・スケッチ

#### □ 成果と課題

主な成果と課題を以下に示す。

- ・博多駅周辺では寺社建築に限らず、特に日常的に多くの人々が通行する駅前の木の空間について、主に居酒屋や飲食店が多いことがわかった。
- ・地元の木の空間を知ることができ、建築やまちづくりを社会的な視点で考えられる人材の育成となった。
- ・MAPのインターネット上の公開や各店舗等への設置に至っていないため、内容を精査後、各関係者の承諾のもと、情報公開に努めたい。
- ・使用されている木材が、国産材が否か等、より詳細な調査を行うことで、福岡博多から木を通じた地域文化を発信し、国産材の利活用の促進に貢献することが望まれる。
- ・木の空間調査のMAPは博多駅前周辺に限らず、福岡の他地域への展開等、続編の調査も検討したい。

(公社)福岡県建築士会 まちづくり委員会